学校番号	T3017

平成 31 年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	美術Ⅰ（光村図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

多様な材料・表現方法を紹介します。それらを制作活動に取り入れ、幅広い美術の世界を学んでいただきます。その中で自己の主題やこだわりを確認して主体的・計画的に表現できるようにするためワークシートも利用してもらいます。制作した作品の相互鑑賞も行います。

2　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して，美的体験を豊かにし，生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに，感性を高め，創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし，美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a：美術への関心・意欲・態度	b：発想や構想の能力	c：創造的な技能	d：鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい，多様な表現方法や美術文化に関心をもち，主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて，感じ取ったことや考えたこと，目や機能，美しさなどから主題を生成し，創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け，意図に応じて，表現方法を工夫して表している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し，そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	授業への出席、美術への関心、ワークシートの提出状況、制作への姿勢等の学習態度を評価する。	授業の中での実践の状況やワークートの内容で評価する。	制作の過程の観察、ワークシート、提出作品等で評価する。	ワークシート、鑑賞文、授業中の発言内容、発表の内容等で評価する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

４　学習の活動

月	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4 5 6 モダンテクニック 7 8 9	オリエンテーション 色彩の基礎 平面構成	美術の領域 教科書や生徒作品の鑑賞 鉛筆の削り方・使い方・濃淡 色相・明度・彩度 三原色による色相環づくり 絵の具の種類と特徴 筆の種類と扱い ドリッピング、スパッタリング、デカルコマニー、スクラッチ、コラージュなど、技法の演習 パネル水張りの目的と方法 色彩と技法をいかした平面構成	○	○ ○	○ ○	 ○	a:授業に遅刻せずに出席し、積極的に参加し、見ることや作ることに興味を持とうとしている。 b:色や技法の特徴をいかして、作品に構成している。 c:いろいろな技法に興味を持ち、試している。 d:自他の作品について良さやおもしろさに気づいている。	出席状況 授業態度 ワークシート 取組状況 提出作品 自己・相互評価
10 11 12 1 2 3	土から生まれる(生活の中のデザイン) 版画で表す とびだすカード	粘土の扱い方 板作りの皿製作 色違い土による装飾デザイン 釉薬かけ 版画の種類と特徴 スチレン版画制作 紙の立体化のいろいろ 切り折りによる飛び出すしくみ・メッセージカード制作 自他の作品鑑賞	○	 ○	 ○	 ○	a:実際に使う器を作ることに興味を持ち、自分だけの模様を考えている。 b:凸版画のしくみを理解し、その特徴をいかして下絵を構成している。 c:試し刷りしながら色の調整をしている。 d:自他の作品について良さやおもしろさに気づいている。	

※　表中の観点について　a:　美術への関心・意欲・態度　　b:　発想や構想の能力
　　c:　創造的な技能　　d:　鑑賞の能力

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。